

2022年6月3日

近未来コンクリート研究会  
RC 構造物の延命化技術研究協議会（M 協議会）

活動概要

主査 江良和徳

---

【背景と目的】

既設コンクリート構造物は様々な要因によって劣化が進行しており、社会インフラの長寿命化、延命化の方策は喫緊の課題である。しかし、社会インフラの適切な維持管理、延命化のための予算・人材・技術が不足していることが指摘されており、未だ抜本的な解決の糸口は見出されていない。そこで M 協議会では、コンクリート構造物の適切な延命化を図るための検討を行い、課題解決のための方策を提案する。

【主な活動内容】

本協議会の検討対象は既設コンクリート構造物とし、主として劣化により生じた性能低下に対する長寿命化、延命化に関する技術、方策、評価、体制、人的資源、予算などに関して協議会メンバーが日々の業務で抱えている問題点、課題等を抽出し、その原因考察と解決策についてディスカッションを重ねている。

また、その中の重点項目として小規模橋梁の維持管理に着目し、M 協議会と一般社団法人広島県土木協会との協働による小規模橋梁点検要領の活用と社会実装について検討を進めている。これまでに東広島市、安芸高田市が管理する小規模橋梁を対象として点検作業を実施した。現在は尾道市が管理する小規模橋梁にて点検作業および簡易補修作業も進めている。

さらに、協議会メンバーの技術向上を目的とし、C 協議会、P 協議会と合同で専門家を招聘して維持管理分野に関する特別講座を企画し、研鑽を図っている。

【活動履歴】

2018 年度

- |       |          |  |
|-------|----------|--|
| 第 1 回 | 7 月 2 日  | 趣旨説明、自由討議、課題抽出、方向性協議                           |
| 第 2 回 | 9 月 19 日 | 課題抽出一覧表による洗い出し                                 |
| 第 3 回 | 1 月 29 日 | 課題抽出一覧表による解決策の検討                               |
| 第 4 回 | 3 月 12 日 | 自由討議、話題提供「ひび割れ注入工の設計数量と使用数量との差異」、<br>中間報告とりまとめ |

2019 年度

- |       |          |                                   |
|-------|----------|-----------------------------------|
| 第 1 回 | 5 月 31 日 | 特別講座「今さら聞けない自然電位」、総会報告            |
| 第 2 回 | 8 月 21 日 | 特別講座「今さら聞けない混和剤の役割」、小規模橋梁の点検要領（案） |

の社会実装について

- 第3回 10月28日 特別講座「ドローン技術の最新情報」、小規模橋梁の簡易点検要領を用いた実測の結果報告

#### 2020年度

- 第1回 8月27日 小規模橋梁点検要領、亜硝酸リチウム設計施工指針  
特別講座「RC構造物の診断に必要な各種分析技術」
- 第2回 2月18日 報告書とりまとめ、JCI 予防保全研究委員会報告書  
特別講座「非破壊試験による劣化調査」
- 幹事会 5月14日 3 協議会合同、中間報告書とりまとめ、次年度活動計画

#### 2021年度

- 第1回 10月8日 「小規模橋梁の簡易点検要領（案）」を活用した点検・補修について  
広島県土木協会様からの話題提供  
基礎自治体の置かれている現状と取り組み事例  
小規模橋梁の簡易点検事例  
小規模橋梁の簡易補修事例  
話題提供を受けてのディスカッション
- 第2回 3月8日 「小規模橋梁の簡易点検要領(案)」を活用した点検・補修の社会実装事例  
安芸高田市での取り組み事例紹介（①工業団地橋、②小原橋）  
尾道市での取り組み事例(今後の予定)  
意見交換

#### 2022年度実施予定

2022年度は、引き続き「小規模橋梁の簡易点検要領(案)」を活用した点検・補修の社会実装を実現するための検討および実施を予定しており、点検結果に基づいた簡易補修の提案および試験施工を行う。協議会による現場見学および意見交換を通じて補修内容のブラッシュアップを図る。

- ・第1回協議会：6月17日（予定）

以上